

- 2020年から腎生検を開始した若い施設です！
- 年間250件程度（院内、院外受託含む）
- 小児例もあります
- 臨床科とのカンファレンスも報告後すぐ随時開催しています
- 常勤での研修も可能です！

形態（腎臓内科・病理診断科の常勤として勤務など）は相談してきめましょう



広大な自然をたのしみ、美味しいものを食べ、
大いに学び遊んでみませんか？
興味ある先生の応募をお待ちしております！

市立札幌病院 病理診断科 腎病理診断研修フェローシップ

- ・年間約1,000件の腎生検（移植腎約400件、自己腎約600件）
 - ・年間約6,000件の各種組織診断
 - ・年間約15件の病理解剖
- ◆ 上記の豊富な症例により、実践的な学習が可能です。過去の腎生検約30,000件のプレパラートと診断情報が参照可能な環境にあり、端末を用いて臨床情報などを確認しながら学習することが可能です。
 - ◆ カメラ付き顕微鏡、机、椅子、端末が提供される予定です。腎病理の教科書の閲覧も可能です。ただし、顕微鏡の台数に限りがあるため、受け入れ可能な時期は例年1月から3月に絞られることが多いです。11月頃にご相談いただければ、具体的な受け入れ時期についてご案内させていただきます。
 - ◆ 業務の都合上、マンツーマンでの指導は限定的となりますことをご承知おきください。自分で標本、顕微鏡、教科書を使って問題を明確化し、忙しいスタッフを捕まえて積極的に質問できるタフな方が向いていると思います。
 - ◆ 過去に実習の受け入れの実績は少数ございます。5日間で、移植腎の代表的症例を120例経験して帰られたベテランの腎臓内科の先生もおられます。なお、特に病理の先生のお力になりたいと思っています。周りに聞く人がおらず、腎生検診断・移植腎生検診断で悩んでいる病理の先生などは、ぜひご相談ください。
 - ◆ ご興味をお持ちの方は、ご希望の研修内容や受け入れ時期について、11月頃よりお問い合わせください。

辻 隆裕

tsuji.takahiro@gmail.com



日本医科大学 解析人体病理学

日本医科大学は、東京都文京区に位置しており、東京駅や上野駅にも10分ほどでいける距離ながら、根津神社や谷中銀座といった古くからの観光地にも徒歩圏内で、都会と下町のよさを併せ持ち非常に過ごしやすい環境です。

代表者氏名： 清水章



職場の横の根津神社は、春はつつじ祭り、秋は紅葉にと、心がワクワクします。

当教室の特色と研修で学ぶことのメリット：

- 当教室は、歴代の矢島権八教授、馬杉洋三教授、山中宣昭教授をはじめとする、**日本を代表する腎病理医が築き上げてきた教室**であり、腎病理診断に対する思い入れが、一段と強い。
- 疾患の病態解明を大切に、研究病理学と診断病理学とを融合して、病理診断に取り組んでいる。
- **光顕標本作製から診断、蛍光抗体法標本作製から診断、電顕標本作製から診断**を研修できる。
- **最新の知見・技術に基づき、低真空走査型電子顕微鏡 (LV-SEM) や質量分析**などを研修できる。
- 他施設からの依頼症例、日本病理学会のコンサルテーション症例など豊富な症例があり、
- **希少疾患の病理**も多く診ることができる。
- 腎病理供覧会は毎週、臨床病理の定期的な腎生検カンファランスは毎月行っている。

腎生検件数：年間約300件

研修生への一言
・ご存知の通り、腎病理は非常に奥が深く、難しい分野です。未だにわかっていないことが山ほどあり、例えば、こんなにも日本で症例が多いIgA腎症に関しても、まだまだ解明できておりません。こんなにも奥深い腎生検を、みなさんと真剣に、一緒に勉強し、より知識を深めていきましょう。皆様を心よりお待ちしております。



神戸市市立医療センター中央市民病院

病理診断科

代表者氏名：原 重雄



□ 毎週金曜日の研修となります

□ 2024年の腎生検件数

腎臓内科：125件

泌尿器科（移植腎）：30件

腎臓内科症例は、毎週金曜日午後5時半からのカンファレンスで全例提示しています

□ コンサルテーション症例も適宜経験できます

□ メッセージ

診断をつけることにとどまらず、「この所見から何を考えるか」「所見のもつ意味は何か」「この所見がどのように形成されるか」に重点を置いて共に考える指導をしています。

産業医科大学 第2病理学・病理診断科

代表者：中山 敏幸、片淵 瑛介

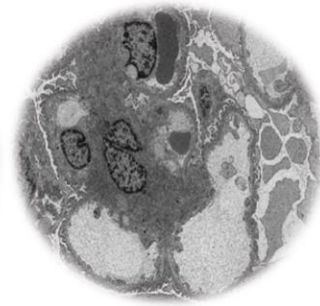
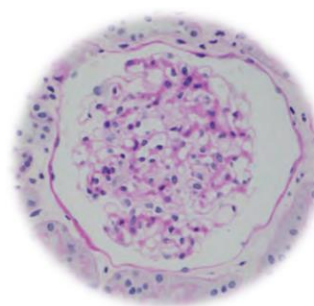
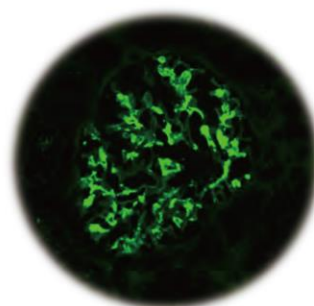
・ 大学病院および九州圏内の39施設の腎生検診断をしています

・ 学外 599例/年 (2021年)
学内 150-160例/年

・ 症例 小児～高齢者
一次性・二次性糸球体疾患、尿細管間質疾患、
血管疾患、遺伝性腎疾患など多種多様

・ カンファレンスなど
教室内カンファレンス (週1回)
他大学・他施設の先生とZOOMミーティング
福岡小児腎病理カンファレンス (1回/2か月)
学内カンファレンス(1回/2か月)

・ 研修で学べること
光顕・蛍光抗体法・電顕診断
蛍光検体作成・撮影
電顕撮影 (検体作成の見学なども可)
可能な限りご希望に沿った研修を行います



腎病理に興味のある方はいつでも大歓迎です、腎病理について一緒に学びましょう



福岡大学 医学部 病理学講座

担当者：上杉 憲子

医局の様子は



FUKUDAI_PATHOL

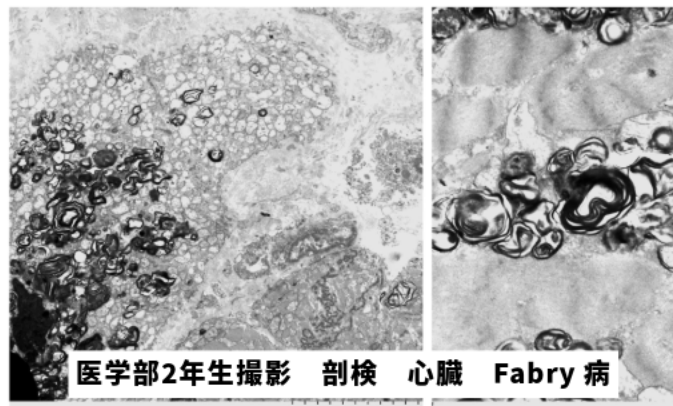
こちらからどうぞ

豊富な症例数
多彩な疾患が
観られる！

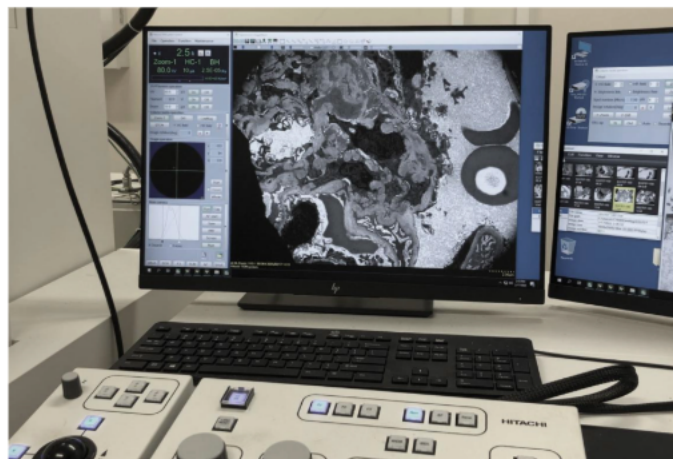
年間 840 件
内、
腎移植 240 件

自分で
電子顕微鏡装置を
動かして
観察できる！

自分で
蛍光抗体の
撮影ができる



医学部2年生撮影 剖検 心臓 Fabry 病



“電顕診断は苦手”という方が多いです。撮影された写真を見るだけでは、なかなか電顕診断の実力が付きません。実際に電顕装置を動かしてみれば、電顕はもっと身近になります！

当講座では医学生にも電顕写真を撮ってもらっています！！

福岡大学病院は地下鉄七隈線福大前駅直結で、博多駅や福岡空港からも地下鉄を利用して来れます。

また、福岡は食の王都でもあります





Cedars-Sinai Medical Center Los Angeles, CA, USA

本院886床、腎移植年間約200例、腎移植外来患者約3,000人
腎生検年間3,900例、過去30年7万例、腎病理医6人
85%自己腎、15%移植腎
10%院内、90%院外

代表者氏名：山下倫史



アメリカ西海岸最大の
症例数を誇る当院で、
典型的な症例から稀な
症例まで、最前線の腎
病理が学べます。